



新得町：地域活力と持続可能性に関する決算・施策レビュー

Noto Serif JP

令和6年度決算特別委員会における
主要協議事項と未来への投資

令和7年9月12日 決算特別委員会・概要報告



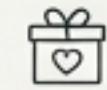
3つの戦略的柱：財政規律と成長投資のバランス

新得町の未来

経済のエンジン



- スポーツ合宿の拡大
- 宿泊税と観光財源
- ふるさと納税の転換



生活環境と安全



- 鳥獣被害対策
- 空き家活用
- 市街地美化



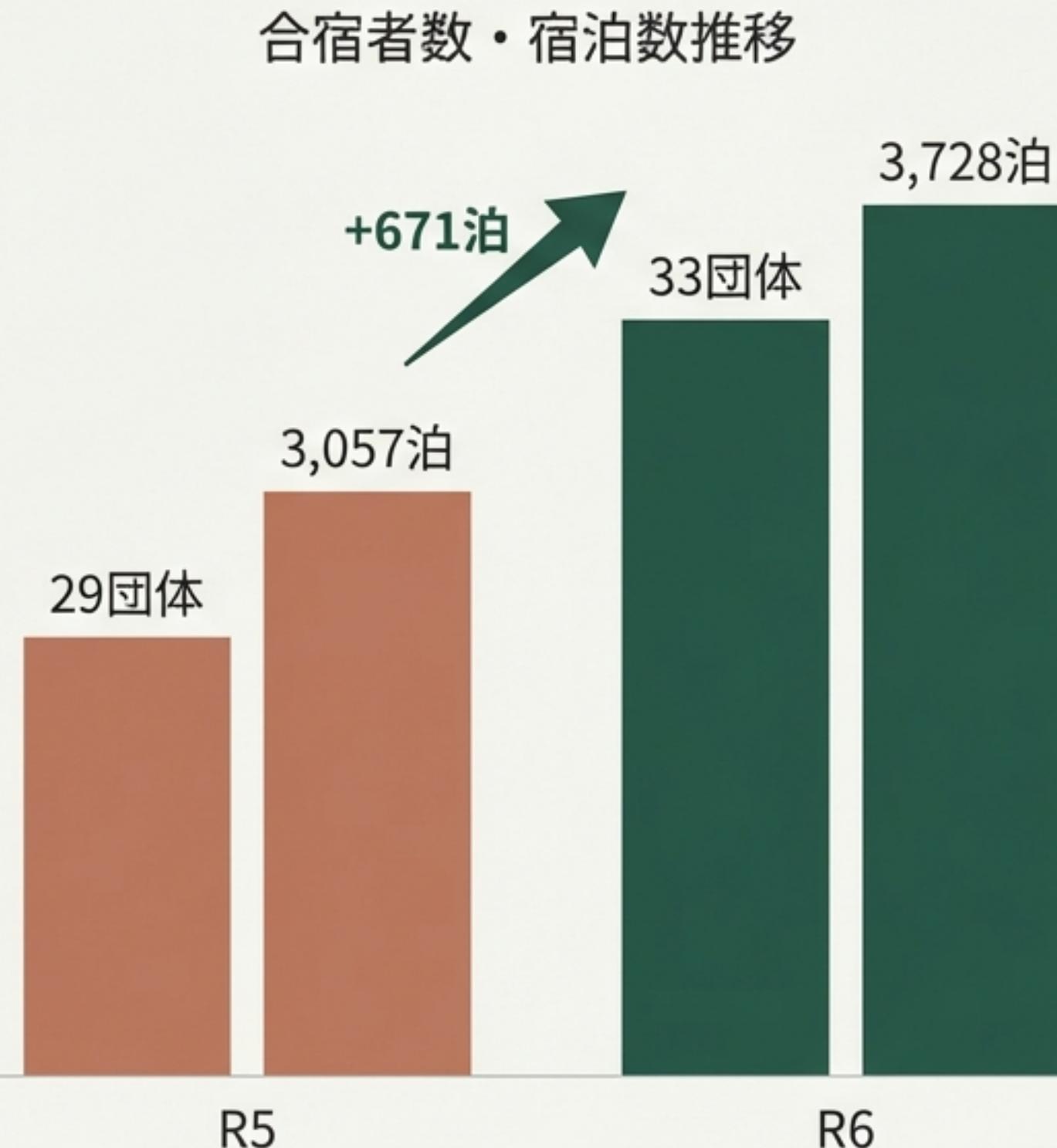
行財政基盤

- 予備費の機動的活用
- 公営企業会計への移行



Settlement of Accounts (R6)

戦略的観光振興：スポーツ合宿の「波及効果」



「合宿は単なる宿泊ではない。
町全体に活気と経済効果をもたらすエンジンである。」

観光財源の確保：宿泊税導入と受入環境のDX化

課題 (The Challenge)

インバウンド需要の取り込みとキャッシュレス対応の遅れ。現金のみの店舗が多く、機会損失が発生。



戦略 (The Strategy)

宿泊税（R7年4月目標）を原資としたキャッシュレス決済導入支援。事業者への手数料補助。



ふるさと納税：中間事業者の活用による「売れる」カタログへ

R6実績 4,939万円（横ばい）からの脱却

これまでの体制

- ・観光協会への委託のみ
- ・単発企画頼み
(例：CO2フリー電気)

これからの中間事業者

- ・専門の中間事業者
(プロのマーケティング)



電気・年2回募集



新得デザインマンホール



野菜



体験型利用券

「寄付額急増の鍵は、プロのマーケティングと『コト消費（体験）』のラインナップ拡充にある。」

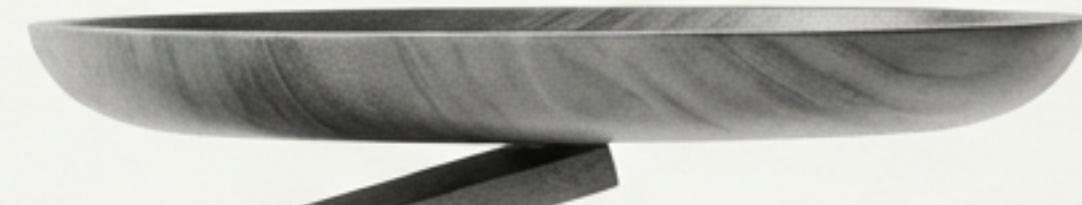
鳥獣被害対策：自治体の努力と限界

1,060頭 
(エゾシカ捕獲)

3頭 
(ヒグマ捕獲)

6億円超 
(十勝管内農業被害)

住民の安心感
根本的な個体数減少

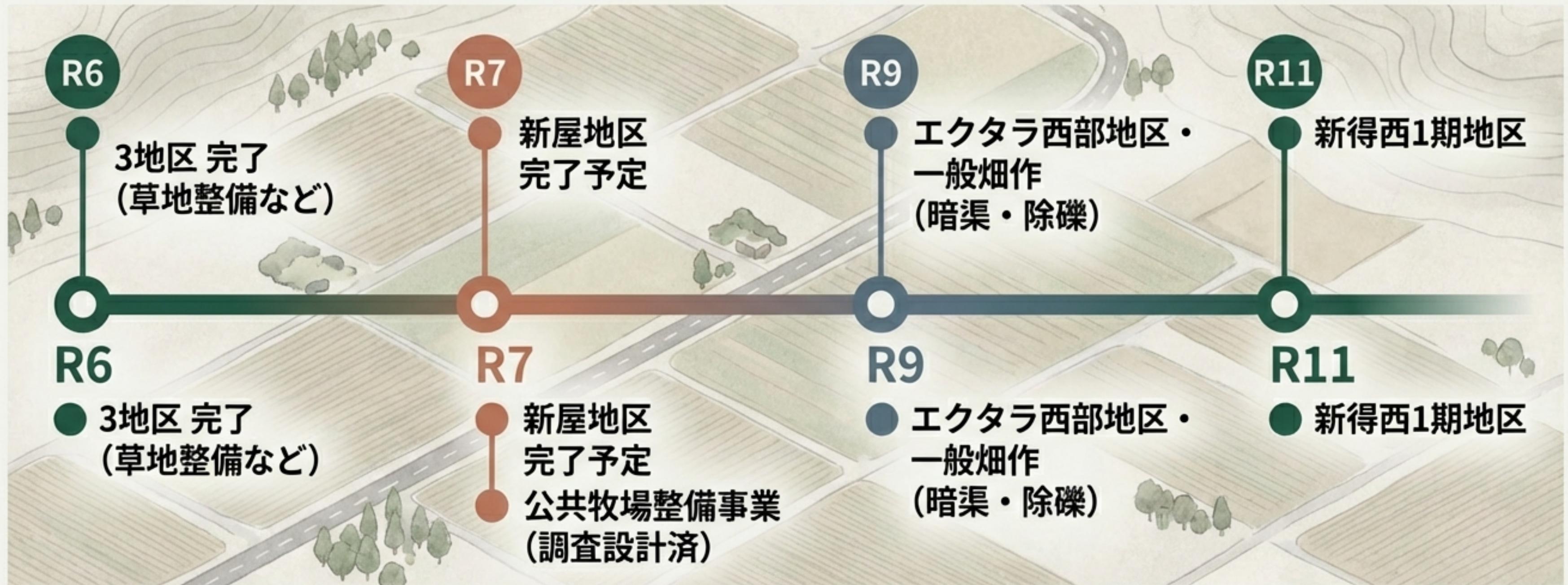


Action: 国・北海道への要請

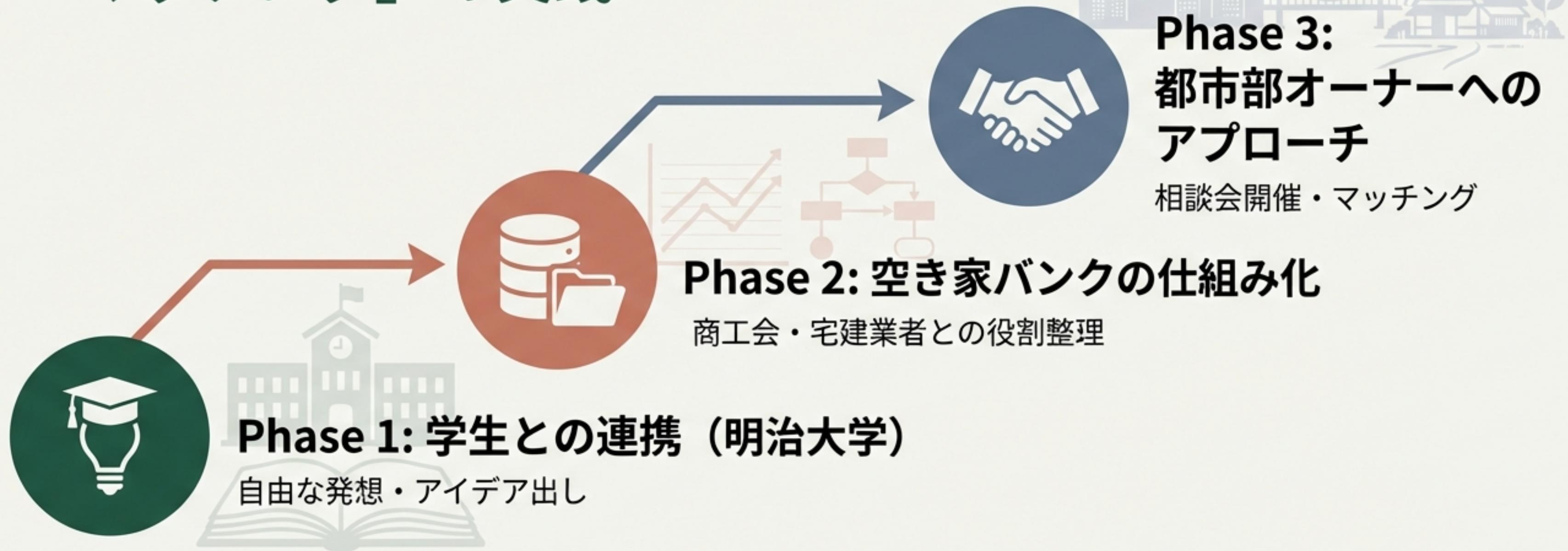
単独自治体での対応は限界。
広域連携と抜本的な制度改正
が必要。

基幹産業の足腰を強くする：農業基盤整備

気候変動・集中豪雨に対応する排水・土壤改良への長期投資

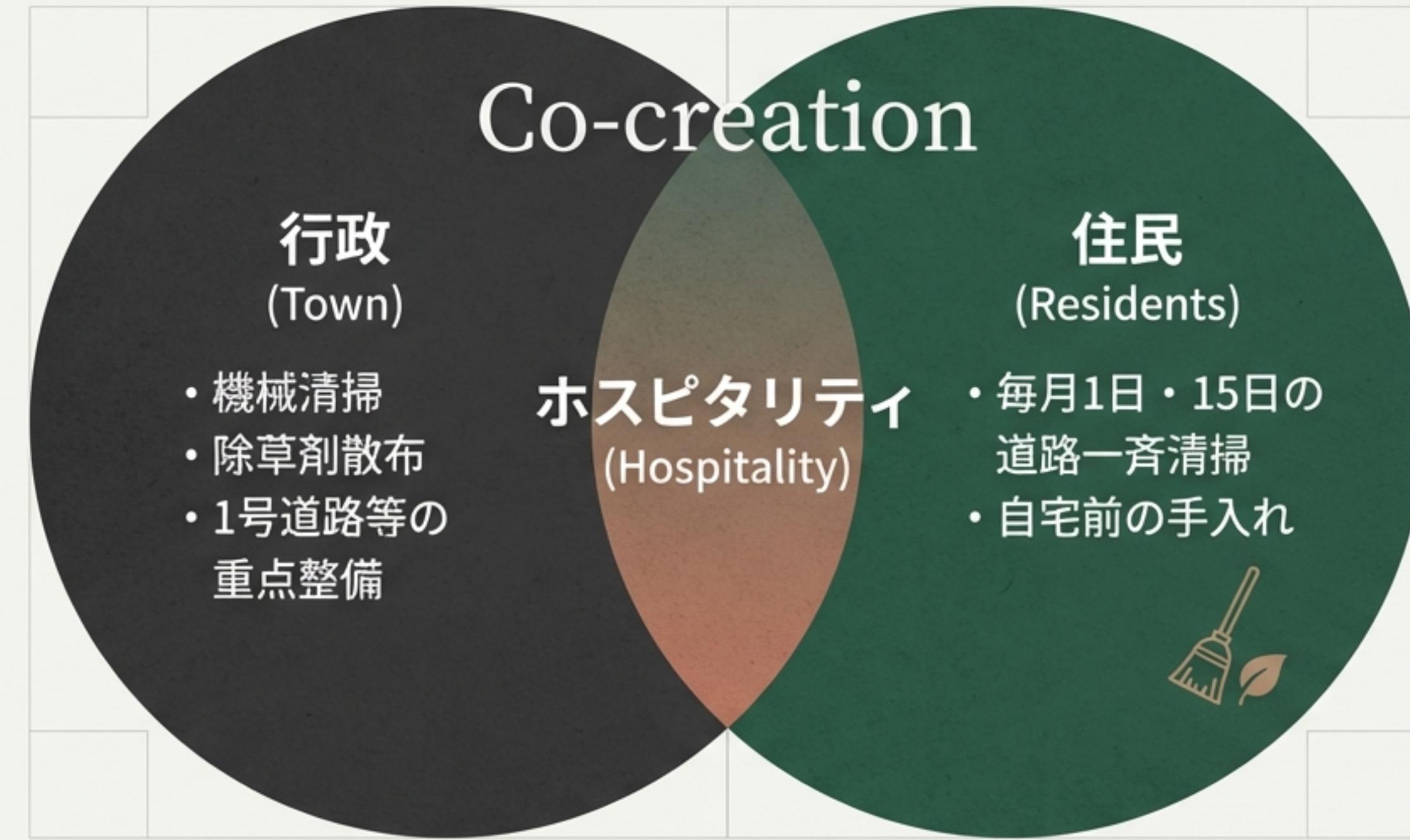


空き家対策：学生のアイデアから 「マッチング」の実践へ



Goal: 居住用だけでなく、商業・店舗活用による「賑わい」の創出

「道がきれいであることは、駅前開発や新しい建物以上に、町の品格を決める。」



教育・社会基盤：図書館の「滞在型」利用への進化

エアコン整備投資の定性的効果



これまでの指標: 貸出数

横ばい

これからの価値: 滞在時間（サードプレイス）

学習・ワーク利用の増加

ハード（施設更新）とソフト（移動図書館車）の両面整備が進行中。

財政運営：予期せぬ事態への機動的対応（予備費）

年間1,000万円の予備費を戦略的に活用



予算不足ではなく、緊急性を要する案件に対して柔軟かつ適切に支出を実行。

公営企業会計：持続可能な上下水道経営へ

令和6年度より下水道事業が法適用へ移行

水道事業 (Water)

💧 有収率 **80.5%**

漏水調査の成果

⌚ 収納率 **99.5%**



下水道事業 (Sewage)

☑ 公営企業会計への移行完了

⚙️ 課題: 接続・水洗化率の向上

正確な資産管理による将来投資への備え



結論：守りから攻めへ、協働によるまちづくり

- ✓ 稼ぐ力（宿泊税・スポーツ合宿）
- ✓ 守る力（鳥獣対策・農業基盤）
- ✓ 支える力（健全財政・公共施設）

「選ばれる町、住み続けたい町へ。」